

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校	校長名	青木 暁乃
------	---	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

**共に育てる 自立と輝き** ～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・学校、保護者、地域の方々と共に、さらに児童生徒同士、児童生徒が自分自身を、育て、成長すること
- ・児童生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がること
- ・自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めること

(2) 目標具現化の柱

- ア 人権尊重の理念に基づいた、安全に安心して学習できる学校 (安全)
- イ 児童生徒のニーズに基づいた、つながりのある指導及び支援ができる学校 (専門)
- ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校 (連携)
- エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいがある学校 (チーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安 全	人権教育年間指導計画の着実な遂行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員人権目標の周知と振り返り</li> <li>・さん付、挨拶、「ありがとう」の励行</li> <li>・不要物の廃棄とスペースの有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、人権教育年間指導計画を着実に遂行している。</li> <li>・児童生徒や保護者が、「大切にされている」と感じている。</li> <li>・分かりやすく、居心地が良いように教育環境が整備されている。</li> </ul>	総務課 生徒指導課
	命を守る、体制強化と行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万が一を想定した、ヒヤリハットの迅速な共有と再発防止対応</li> <li>・食育研修、マニュアルの周知や訓練等による心身の健康の保持増進および安全の確保</li> <li>・福祉避難所運営を軸とした防災体制の整備と全職員での共有</li> <li>・個々に応じた避難方法の想定とそれができるための指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未然防止の観点から点検と対応が常に行われている。</li> <li>・食育の推進と食の安全の確保</li> <li>・保護者が福祉避難所指定とその在り方について説明を受けている。</li> <li>・職員と児童生徒は、緊急時、および発令・発災・避難所開設時等の対応を理解し、行動できる。</li> </ul>	総務課 体育課 保健給食課 防災防犯課
専 門	教育的ニーズの的確な把握とそれに応える自立活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的なツールを活用した児童生徒の実態把握</li> <li>・様々な研修を通した「教育的ニーズ」の理解</li> <li>・専門家を招聘した自立活動学習会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、児童生徒の自立活動の目標と、今持っている力や得意なことを生かした達成方法を、保護者に丁寧に伝えている。</li> </ul>	自立活動課
	つながりのある支援と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「12年間のつながり検討会」での学部を超えた職員の対話</li> <li>・一人一台端末の使用についての、現状や成果と課題の整理</li> <li>・各教科等を合わせた指導の授業場面での、自立活動や教科で培った力を発揮した姿の見取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12年間のつながりの中で学習の目的・目標について、保護者に伝えている。(お便りも含む)</li> <li>・学習場面で、一人一台端末が活用されている。</li> <li>・児童生徒が、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を楽しみにし、願いを叶えようとする力を存分に発揮して取り組んでいる。</li> </ul>	教務課 研修課 情報教育課
連 携	自立と輝きに向けた発信と協働の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の応援によって教育活動が充実していることについての周知の工夫。</li> <li>・多様な発信方法の模索と実施</li> <li>・支援会議の目的の明確化と、時期、参加者、進行の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と保護者が、学校運営協議会からの具体的な支援を理解している。</li> <li>・支援会議後、今後の方針と役割分担が明確になり実践されている。</li> </ul>	地域連携課 進路指導課
	つながりの精選と地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流や地域に出かける学習の実施ごとに、共生社会の推進とのつながりを話題にする</li> <li>・得意な学び方の発信による、交流および共同学習の充実</li> <li>・職員が、豊かな地域資源・福祉資源を理解し活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の様々な交流や活動が、インクルーシブの推進につながっていることを、職員が説明できる。</li> <li>・各種交流の活動に、打合せで伝えた児童生徒の「得意な学び方」が生かされている。</li> <li>・地域貢献や地域資源を活用した学習に、児童生徒が意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	地域連携課 進路指導課
チ ーム	誇りとやりがいがある職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサーション研修の共有と活用</li> <li>・業務分担の定期的な見直し</li> <li>・事務執行状況の情報共有と円滑な業務遂行のための共同</li> <li>・教育活動の積極的な広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がチーム力の維持向上に努めている。</li> <li>・教職員の時間外勤務時間が上限を下回っている。</li> <li>・事務室との連絡相談が迅速に行われている。</li> <li>・本校の取り組みの良さが外部に発信され、伝わっている。</li> </ul>	主任会 事務部 業務改善委員会 総務会

